

付 議 第 1 号

平成 27 年度高知県一般会計補正予算に係る意見聴取に関する議案

平成 27 年 12 月高知県議会定例会提出予定の別紙議案に係る地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定に基づく高知県知事からの意見聴取に対し、適当であると認めることについて、高知県教育委員会事務委任規則（平成 4 年高知県教育委員会規則第 1 号）第 2 条第 5 号の規定により議決を求めます。

高知県教育委員会事務委任規則

第 2 条 教育委員会は、次に掲げる事務を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

(5) 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案について意見を述べること。

平成 27 年度 12 月補正予算総括表

教育委員会（一般会計）

（単位：千円）

課 名	既計上予算額	補正見込額	左 の 財 源 内 訳		備 考
			特定財源	一般財源	
学校安全対策課	4,469,911	30,671	(国) 19,509 (債) 10,000	1,162	
高等学校課	18,952,093	34,294	(債) 25,000	9,294	
新図書館整備課	5,155,923	1,000	(寄) 1,000		
計	98,216,516	65,965	(国) 19,509 (寄) 1,000 (債) 35,000	10,456	

繰越明許費明細書

追 加

(単位千円)

(学校安全対策課)

款 項	目	事 業 名	金 額	左 の う ち 繰 越 予 定 額	説 明
13 教 育 費			2,006,934	2,006,934	
1 教 育 総 務 費			2,006,934	2,006,934	
	4 学校施設等整備費	施 設 整 備 費	1,855,560	1,855,560	計画調整に日時を要したため
		維 持 修 繕 費	151,374	151,374	計画調整に日時を要したため
15 災 害 復 旧 費			30,671	30,671	
4 県有施設等災害復旧費			30,671	30,671	
	2 文教施設等災害復旧費	文教施設等災害復旧事業費	30,671	30,671	計画調整に日時を要したため

(幼保支援課)

款 項	目	事 業 名	金 額	左 の う ち 繰 越 予 定 額	説 明
13 教 育 費			167,625	167,625	
2 児 童 費			167,625	167,625	
	2 幼保支援費	保育所・幼稚園等南海トラフ地震対策事業費	167,625	167,625	計画調整に日時を要したため

(小中学校課)

款 項	目	事 業 名	金 額	左 の う ち 繰 越 予 定 額	説 明
13 教 育 費			250,728	250,728	
3 学 校 費			250,728	250,728	
	1 小中学校費	教育事務所費	250,728	250,728	計画調整に日時を要したため

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額
 又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等の補正に関する調書
 追 加

(単位千円)

課 名	事 項	限 度 額	前年度末までの 支出(見込)額		当該年度以降の 支出予定額		左の財源内訳			一般財源
			期 間	金 額	期 間	金 額	特定財源			
							国庫支出金	地方債	その他	
教 職 員 ・ 福 利	教員採用選考審査筆記問題作成 等委託料	10,488			平成27年度 ～平成28年度	10,488				10,488
幼 支 保 援	保育所・幼稚園等高台移転施設 整備事業費補助金	250,206			平成27年度 ～平成28年度	250,206				250,206
高 学 等 校	外国語指導助手配置委託料	19,559			平成27年度 ～平成28年度	19,559				19,559
	基礎学力把握検査等委託料	3,409			平成27年度 ～平成28年度	3,409				3,409
	県立学校整備事業費 (高吾地域拠点校)	80,019			平成27年度 ～平成28年度	80,019			(債) 59,000	21,019

教育委員会事務局 平成27年12月補正予算案の概要

連番	課名	事業名	概要	補正額(千円単位)			
				金額	(一)	(国)	(その他)
1	学校 安全 対策	文教施設等災害復旧事業 費	須崎工業高校法面災害復旧工事 (9/24集中豪雨による災害)	30,671	1,162	19,509	(債) 10,000
2	高等 学校	施設整備費	高吾地域拠点校実施設計委託 ・2か年度(H27～H28)に渡るため、前払い分を現年補 正に計上	28,274	3,274		(債) 25,000
3	高等 学校	施設整備費	高吾地域拠点校地質調査委託 ・2か年度(H27～H28)に渡るため、前払い分を現年補 正に計上	6,020	6,020		
4	新図 書館	図書館活動費	県民の読書環境向上を目的とした寄附 山本貴金属地金(株):1,000千円	1,000			(寄) 1,000
一般会計 合計				65,965	10,456	19,509	36,000
5	教職員 ・福利	<債務負担行為> 教職員費	平成29年度教員採用候補者選考審査における筆記審 査問題の作問等に係る業務委託	10,488	10,488		
6	幼保 支援	<債務負担行為> 保育所・幼稚園等南海ト ラフ地震対策事業費	保育所・幼稚園等高台移転施設整備事業費補助金 (幼保連携型認定こども園なほり)	250,206	250,206		
7	高等 学校	<債務負担行為> 国際交流活動等推進費	平成28年度外国語指導助手配置業務 山間部等の県立高校への民間委託ALT(5名)の配置	19,559	19,559		
8	高等 学校	<債務負担行為> 高校再編推進費	基礎学力把握検査等委託料 県立高校6校(安芸、南、追手前、小津、西、中村)の 新1年生に対して、合格者登校日以降(3月中)に行う 基礎学力検査の実施・結果分析に係る経費	3,409	3,409		
9	高等 学校	<債務負担行為> 施設整備費	高吾地域拠点校実施設計委託 ・2か年度(H27～H28)に渡るため、精算分を債務負担 で計上	65,973	6,973		(債) 59,000
10	高等 学校	<債務負担行為> 施設整備費	高吾地域拠点校地質調査委託 ・2か年度(H27～H28)に渡るため、精算分を債務負担 で計上	14,046	14,046		
11	スポーツ 健康	<債務負担行為> 生涯スポーツ振興事業費	高知市東部総合運動場多目的ドーム整備事業に対す る補助	323,275	323,275		
債務負担行為 合計				686,956	627,956	0	59,000

●高吾地域拠点校整備スケジュール(案)

2015/11/24

年度 場所・業務	平成27年度												平成28年度												平成29年度												平成30年度												平成31年度																	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
新館・新体育館 渡り廊下 【新築】	伺・プロ ポ ・契約			基本設計									伺・ 契約			実施設計									契約業務 単価 入替			伺・ 公告			開札・落札 ・仮契約 ・議案提出			6 月 議 会			新校舎・新体育館建築												完了 査 定																	
地質調査 (新築・改修共通)													伺・入 札・ 契約			地質調査																																																		
本館・南舎・体育館 専門棟・渡り廊下 【改修】	伺・プロ ポ ・契約			基本設計									伺・ 契約			実施設計									契約業務 単価 入替			伺・ 公告			開札・落札 ・仮契約 ・議案提出			6 月 議 会			改修工事												完了 査 定																	
																																	※新館等の新築工事との兼ね合いがあり、着手時期は流動的																																	
仮設校舎建築 既存校舎解体 (生徒昇降口・実習棟 渡り廊下)													伺・入 札・ 契約			仮設 建築 工事			既存 校舎 解体																																															
																																	※実施設計については、上記(新館等)の契約に含む																																	
プール本体 ※プール附属棟 一式は新体育館 に含まれる													伺・入 札・ 契約			実施設計						伺・入 札・ 契約			工事 (防水シート加 工等)																																									

事業概要

◆生涯スポーツの普及・推進と、スポーツツーリズムの推進を目的として、高知市が整備する高知市東部総合運動場多目的ドームの工事に係る経費のうち、実質的に高知市が負担する額の1/2を補助する。

【県が支援する理由】

- 本施設を含む高知市東部総合運動場は、複数の競技で練習や大会会場として利用されるとともに、運動部活動やスポーツ団体のイベントなどで、高知市のみならず広く県民に活用されており、県が策定している「スポーツ推進プロジェクト実施計画」においても、地域及び複数競技のスポーツ拠点施設として位置づけている公益性の高い施設である。
- 類似の既存施設である「よさこいドーム」は、約4割が高知市民に限らない団体の利用となっている。
- プロ野球キャンプは、見学を目的に多くの県外客が訪れ、経済波及効果が高い。本施設の整備は、現在キャンプを行っている球団の要望に沿うものでもあり、新たなプロ野球キャンプ誘致につながるものである。

1. 生涯スポーツの普及・推進

現状・課題

■屋内スポーツ施設の不足

*高知市及び高知市周辺の主な体育館・屋内競技施設は、大会の会場や練習場所として広く県民に利用されているが、土日・平日19時以降の稼働率はほぼ100%であり、練習場所や大会の会場確保が課題となっている。

*多目的ドームは、野球、フットサル、ハンドボールなど複数競技で利用可能であるとともに、大会・練習・イベント・レクリエーションなど、子どもから高齢者に至るまで多様なスポーツ活動で利用可能であるが、同様の施設が少ない。(高知市周辺ではよさこいドームのみ)

■競技人口の増加

*高知市東部総合運動場多目的ドームと仕様が類似(屋内人工芝)している高知市よさこいドームでの利用が多い野球、フットサルの競技人口は近年増加しているが、施設不足のため、競技人口の増加に沿った競技活動の広がりが期待できない。

■障害者スポーツの推進

*2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催に向け、障害者のスポーツ活動の増加が見込まれるが、屋内施設の不足が今後の課題。(現在の拠点は県立障害者スポーツセンター)

<施設の利用方法>

主要な大会等は前年度中に優先的に予約(土日は大部分埋まる)

利用希望者を対象とした抽選を毎月実施(平日19時以降の競争率が高く、抽選に漏れて利用できない人が多いが現状)

◆主な施設の平日(19時以降)と休日の年間稼働率(H26)

NO.	施設名	稼働率
1	県立春野総合運動公園体育館	約98%
2	県立県民体育館	100%
3	高知市総合体育館	100%
4	高知市総合運動場多目的ドーム	約98%
4	南国市立スポーツセンター	100%

◆主な施設の利用申込件数と実際に利用できた件数(H27.10実績(平日19時以降))

施設名	利用件数/申込件数
県立春野体育館(大アリーナ)	90/358
県立春野体育館(小アリーナ)	26/867
県立県民体育館	44/240

◆野球・サッカー・フットサルの競技人口・チーム数
(各競技団体への登録者数・登録チーム数(小学生から成年まで))

NO.	競技種目	競技人口		チーム数	
		H22年度	H26年度	H22年度	H26年度
1	野球	9,013人	9,449人	416	477
2	サッカー	5,506人	5,939人	227	231
3	フットサル	679人 (H26)	837人 (H27)	44 (H26)	58 (H27)

期待される効果

◆土日・平日19時以降を中心に、現在抽選に漏れて利用できていない方の利用機会が増える。
【施設不足の緩和】

◆子どもが楽しく参加できるタグラグビーやキックベースボール、高齢者が取り組みやすいターゲットボードゴルフやディスクゴルフ、運動部活動やスポーツ団体の運動会など、幅広い世代の方々が天候に左右されず気軽に多様なスポーツに親しむことができる機会が増える。
【生涯スポーツの振興】

◆競技人口が増えている野球やサッカー、フットサルの活動がさらに増え、競技の普及と競技力の向上につながる。
【競技力向上】

◆障害者スポーツの理解促進と、障害のある方のスポーツ参加機会の増加につながる。
【障害者スポーツの推進】

2. スポーツツーリズムの推進

現状・課題

■新たにプロ野球のキャンプを誘致するためには、球場だけでなく、雨天練習場がセットが必要。

*県内で雨天練習場を併設する球場は3球場：①高知球場、②安芸市営球場、③県立春野球場

*東部球場には雨天練習場がなく、キャンプ時には高知球場に併設されたよさこいドームを利用。

■プロ野球キャンプを受入できる球場が4球場あるにもかかわらず、同時に3球団しか受け入れることができない。



経済波及効果

※オリックスキャンプと同程度の効果を想定

①新たにプロ野球のキャンプを誘致した場合の直接効果 45,600千円

1,500人泊×2万円×1.52(秋季キャンプ60人×20泊、春季50人×6泊)

②新たにプロ野球キャンプを誘致した場合の県外応援客等による効果 83,346千円

(秋季) 3,430人×15,109円×1.52=78,722千円

(春季) 224人×13,445円×1.52=4,574千円

※キャンプ観戦に訪れた県外客数×県外客一人あたりの平均県内消費額×生産誘発係数

実施内容

◆整備内容

○施設概要

雨天等天候に左右されず、野球、サッカーの練習やフットサル、ハンドボールの試合等、多目的な利用ができる人工芝の室内運動場

○施設構造等

構造：RC造(平屋建)、膜屋根、フィールド材質は人工芝
延べ床面積：約4,400㎡
競技可能面積：3,600㎡(60m×60m)
高さ：競技エリアの中央部で約18m
諸室：会議室、更衣室、トイレ、倉庫

○工事費(概算)

①建築主体工事(多目的ドーム建築等)：1,740百万円
②電気設備工事(照明設備等)：144百万円
③機械設備工事(給排水等)：46百万円
合計1,930百万円

◆スケジュール

現在、基本・実施設計を進めており、平成28年度から工事中、平成29年6月に完成する予定。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
設計	→ (H26.9月～H27.12月)		
工事	入札 (2月) 契約 (3月)	→ 本体工事14ヵ月 (H28.4月～H29.5月)	→ 各検査 備品搬入等 (H29.6月)

関連計画

■スポーツ推進プロジェクト実施計画 (H27.3月策定)

【重点項目】

- ①子どもの運動・スポーツ活動の充実
- ②競技力の向上
- ③地域の運動・スポーツ活動の活性化
- ④障害者スポーツの充実
- ⑤スポーツ施設・設備の整備

拠点となるスポーツ施設整備の考え方

■拠点施設としての機能が不十分な施設を、「スポーツ推進プロジェクト検討会」で選定し、必要性・緊急性に応じて、計画的に整備する。